

N
BOX

スロープ仕様

PRESS INFORMATION 2018.4.19

HONDA
The Power of Dreams

「介護のある生活」に、もっと笑顔をつくろう。

高齢社会を迎えた日本において、介護は、いつ誰に訪れても不思議ではないほど一般的になりました。そうした時代のなか、Hondaは、車いすをお使いの方と介助する方が、ともに笑顔で過ごせる生活を実現したいと考え、N-BOXスロープ仕様の開発に取り組んできました。

開発にあたってもっとも大切にされたことは、N-BOXのよさを一切損なうことなく、福祉車両として完成させることでした。普段と介護、それぞれにしっかり使えること。そして、その切り替えが簡単にできること。さらには、デザインもクオリティも走りも安全性も他の仕様と変わらぬ魅力を備えていること。これらの実現が、日本でいちばん選ばれている*N-BOXの使命だと考えてきました。

N-BOXならではの広さを活かした、ゆとりの居住空間と広い荷室。「4人乗車モード」と「車いす乗車モード」の簡単な切り替え操作。介助する方と車いすの方の両方にうれしい数々の気配り。それらはきっと、「介護のある生活」に多くの笑顔をもたらしてくれることでしょう。

Nのある豊かな生活を、もっと多くの人へ。

N-BOXスロープ仕様の“使いやすさ”に込めたHondaの想いです。



白土 清成 (しらと きよなり)
(株)本田技術研究所 主任研究員

1986年、本田技研工業(株)入社。
1987年より(株)本田技術研究所に
配属され初代NSX、アコード、フィット
等のボディー設計を担当。2011年から
初代「N」シリーズの設計領域LPL代行
を務め、新型N-BOXではすべての仕様
のLPLを担当。趣味は自転車、ゴルフ、
写真撮影。愛車はオデッセイ、N-ONE。

* 2017年度 新車販売台数 第1位を獲得。N-BOXシリーズ(N-BOX、N-BOX+、N-BOX SLASH)一般社団法人 日本自動車販売協会連合会および全軽自協調べ。



生活スタイルに合わせて選べる3つのN-BOX。

スロープ仕様が新たに加わり、N-BOXのラインアップが完成しました。
普段はもちろん、介護から趣味まで幅広く使える スーパーフレックススロープを装備。
また、「車いすは乗せないけれどスロープが欲しい」というお客様のために
「車いす専用装備 非装着車」もご用意しています。



ベンチシート仕様

前席と後席の組み合わせで、多彩なシート
アレンジが可能。お買い物から遠出まで
さまざまな使い方に対応します。



スーパースライドシート仕様

大きく動く助手席で空間を自在に変化。
車内での過ごし方や乗り降りを変え、
快適な生活をサポートします。

NEW

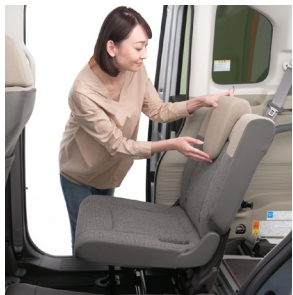


スロープ仕様

普段はもちろん、介護から趣味まで幅
広く対応。広い荷室とスロープが、生活
に新しい可能性を広げます。

「車いす乗車モード」へすばやくチェンジ。直感的にできる、シンプルな乗り入れ操作。

「4人乗車モード」から「車いす乗車モード」への切り替えが面倒では、介助する方にとっても車いすの方にとっても負担になってしまいます。N-BOXスロープ仕様の最大の課題は、モードチェンジのしやすさにありました。そのため、お客様の身になって切り替え操作を徹底的に見直し、N-BOX+車いす仕様車の半分以上となるわずかな手順でモードチェンジを実現。直感的にできる、シンプルな乗り入れ操作を可能にしました。



STEP 01 車いす乗員の空間をつくる

後席ヘッドレストに、他の仕様と同じ埋め込み式を採用。ヘッドレストを取り外すことなく後席を収納できます。続いて、フロアのパーテーションボードを取り外し、前席背面のポケットへ。パーテーションボードの脱着に、指で操作ができるクリップを採用していますので、コインなどを用いず簡単にはずせます。



手で
はずせる



STEP 02 乗り入れの準備をする

荷室の床を引き起こして反転させれば、そのままスロープに早がわりします。車いす乗員用の手すりをロックするまで回転させ、乗り入れの準備は完了です。スロープは軽量化を徹底。N-BOX+車いす仕様車に対しスロープ単体で約2.5kg、ロック機構などを含め約4.5kgの軽量化を実現しました。



回転
させるだけ



STEP 03 ウインチで車いすを車内へ

電動ウインチを使ってラクに乗り入れできます。操作リモコンは、車いすの押し手にセットして使うことが可能。電動ウインチも進化させ、介助する方にとっても車いすの方にとっても、より安心感の高い乗り入れを可能にしました。



一緒に
握りやすい



STEP 04 出発準備を完了させる

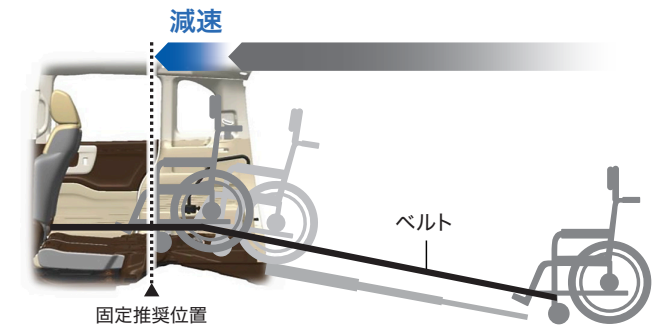
ベルトを用いて車いすを固定。車いす乗員専用のシートベルトを装着します。スロープを立てた状態でロックして乗り入れ完了です。スロープのロックはノブを引いてから倒すだけの簡単操作。赤い目印で、正しくロックされたことが確認できます。



ロックが
しやすい

扱いやすく安心感の高い電動ウインチ

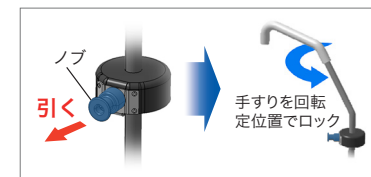
車いすを引き上げる電動ウインチを進化させ、乗り入れ時の安心感を高めました。モーターの高出力化により、急いで乗り入れする場合にもベルトのたるみやウインチへの噛み込みを防止。さらに、車いす固定推奨位置付近で減速させる高度な制御を導入。介助する方と車いすの方、両方の安心感を高めています。



ラクに設置でき、収納場所にも困らない、

車いす乗員用手すり

N-BOX+車いす仕様車では脱着式であった車いす乗員用手すりを回転式に変更。ノブを引いて回転させるだけで定位置に固定できます。非使用時にはサイドライニングにすっきりと格納できます。



■手すり固定操作手順



■手すり格納時イメージ

介助する方にも車いすの方にも、快適・便利な気配りアイテム。

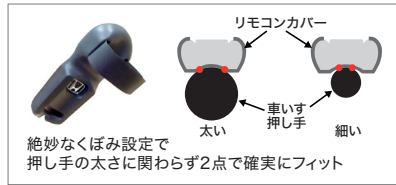
「介護のある生活」にもっと笑顔をもたらすために、介助する方と車いすの方、それぞれの立場から使い勝手を徹底的に検証。ドリンクホルダーの位置にまで気を配り、乗員みんなの快適・便利を追求しました。

安定したウインチ操作に役立つ、電動ウインチ用リモコン&カバー（ベルト付）

リモコンカバーの背面に絶妙なくぼみを設け、さらにベルトを備えました。さまざまな太さの押し手にしっかりフィットし、安定したウインチ操作が行えます。



■電動ウインチ用リモコン&カバー（ベルト付）



■リモコンカバー説明図

絶妙なくぼみ設定で押し手の太さに関わらず2点で確実にフィット

使いやすい位置に設けた主電源スイッチとサイドトレイ

電動ウインチの主電源スイッチを、バックドアから手の届きやすいリアルームサイドに配置しました。運転席に戻ることなく乗せ降ろしをスタートできます。また、スイッチパネル上部には、電動ウインチ用リモコンが置けるサイドトレイを設けました。



■主電源スイッチ



■サイドトレイ（リアルーム左側）

夜間の乗せ降ろしに役立つバックドアランプ

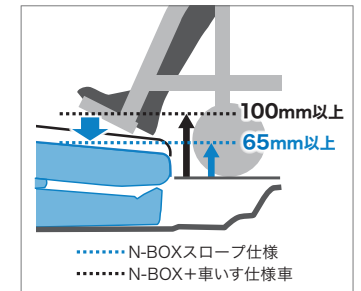
足元を照らし、夜間の乗せ降ろしに安心感を高めます。



■バックドアランプ

車いす乗員の足元快適性アップ

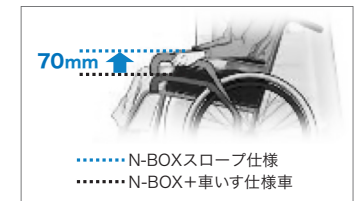
後席のシートフレームを専用設計とし、たたみ方も工夫。座り心地を損なうことなく収納時の高さを大幅に低減しました。N-BOX+車いす仕様車では、車いすステップの推奨高さを100mm以上としていましたが、N-BOXスロープ仕様では65mm以上とし、フットプレートをより低い位置に設定できるようにしました。さまざまな体格の方に快適にご乗車いただけます。



■車いすフットプレート推奨高さ比較イメージ図

車いす乗員用手すり位置の最適化

手すり位置を、N-BOX+車いす仕様車に対して70mm高く設定。乗員に近づけ握りやすくしました。



■車いす乗員用手すり高さ比較イメージ図

車いす乗員の使いやすさに配慮した収納装備

ドリンクホルダーを、車いす乗員が自然に手を伸ばせば届く、使いやすい位置に設定しました。サイドポケットは、A4サイズまで収納可能です。



■ドリンクホルダー（リアルーム左側）

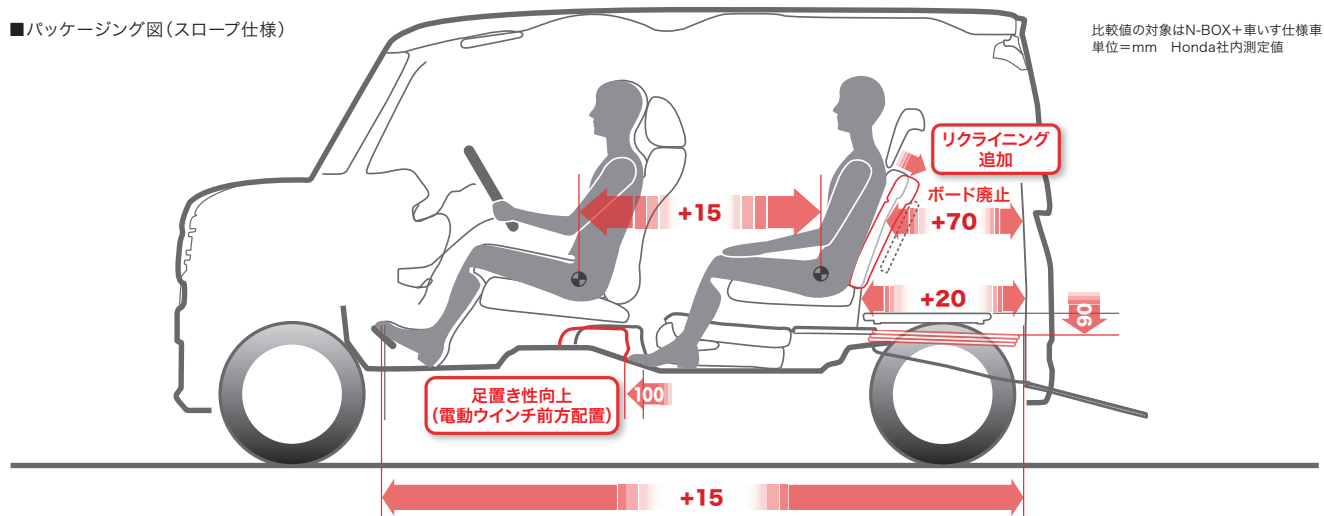


■サイドポケット（リアルーム右側）

ゆとりの室内空間を生かした、快適な後席と広々荷室。

プラットフォームから新開発することで、従来以上の広さを実現したN-BOX。ゆとりの室内空間をスロープ仕様
に最適なバランスでパッケージングし、普段づかいでの優れた快適性と使い勝手を実現しました。

■パッケージング図(スロープ仕様)



後席快適性を大幅にアップ

タンDEMディスタンスを、N-BOX+に対し15mm拡大。また、電動ウインチを前方配置することで、後席足元空間を100mm広げました。さらに、リクライニング機構も採用し、後席の快適性を大幅に向上させました。



使い勝手に優れた広々荷室

スロープを装備しながら、他の仕様と同じ低くフラットな荷室を実現しました。N-BOX+に対して、床面上高は90mm低く、荷室床面長は20mm拡大しています。また、収納したスロープが間仕切りとなり、荷室を上下2段で使用可能。より多くの荷物がラクに詰める、使い勝手のよい荷室を実現しています。

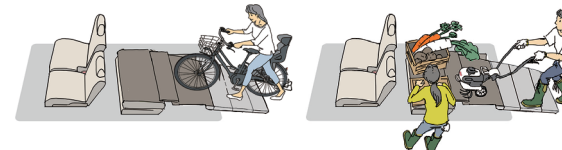


スロープのみをお望みのお客様へ 「車いす専用装備 非装着車」をご用意

車いすは乗せないけれど、重たいものを運ぶためにスロープが欲しい。そうしたお客様のために「車いす専用装備 非装着車」をご用意しました。電動アシスト自転車をはじめ、バイクや耕うん機などもラクラク積載可能。普段づかいに趣味のシーンに大活躍します。

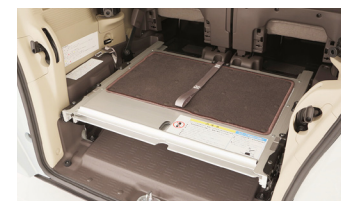
【非装着となる車いす専用装備】

- 電動ウインチ ●電動ウインチ用リモコン&カバー(ベルト付) ●車いす乗員用すり ●車いす乗員用3点式ELRシートベルト ●車いす固定ベルト



マルチボードを使わずにフラットな荷室を実現

2段ヒンジ構造を採用することで、N-BOX+で必要であったマルチボードを用いずにフラットな荷室を実現しました。スロープ使用時は、引き出すだけでななめの床と連続します。



■2段ヒンジ構造とスロープの動き



福祉車両も、変わらぬデザイン、共通カラーラインアップ。

「介護のある生活」が一般化する現代。Hondaは、福祉車両も他の仕様と変わらぬ洗練されたデザインであるべきだと考えます。そこで、開発の初期段階からスロープ仕様を想定してデザインを構築。リア下端の見え方がわずかに異なるだけの共通デザインで完成させました。もちろん、ボディーカラーにおいても、まったく同じラインアップをご用意しています。



スーパースライドシート仕様
ベンチシート仕様



スロープ仕様



スーパースライドシート仕様
ベンチシート仕様



スロープ仕様

■ボディーカラー



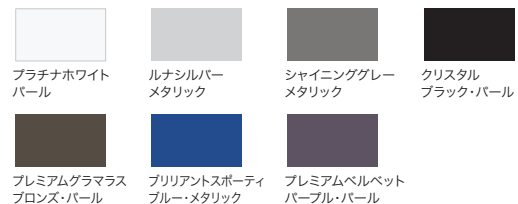
* N-BOX G・スロープ Honda SENSING、N-BOX G・スロープL Honda SENSINGでお選びいただけます。

2トーンカラー

(N-BOX G・スロープ Honda SENSINGを除く)
※ Hondaスマートキーも2トーン仕立てになります。



■ボディーカラー



2トーンカラー

※ Hondaスマートキーも2トーン仕立てになります。



